

IV 事業

1 令和2年度事業報告

令和2年度事業の概要

当財団は、新潟市民の芸術文化及び歴史文化の振興を図り、もって、自主的自発的な市民文化の創造に寄与することを目的とする公益財団法人として、新潟市において感動し驚きに出会い、そして共に生きる絆を創る人々の文化的プラットフォームの構築に寄与し続けるための事業展開に努めています。

令和2年度も前年度から続く、新型コロナウイルスの影響により多くの主催事業・貸館事業が中止や延期となってしまいましたが、市民の自主的な文化活動を支援するとともに、感染防止対策を最大限に行いながら、指定管理施設を生かして、市民各層の皆さまに多様な分野による質の高い創造的な芸術文化事業を提供し、合わせて普及と育成に努めました。また、歴史博物館等を通じ、「みなとまち新潟」の魅力を広く皆さまから楽しんでいただくための事業を展開しました。

財団運営では、新潟市の財政が厳しい状況にある中、事業の効率化に努め、経費の圧縮と節約を常に意識しながら取り組みを進めました。

当財団の事業体系は以下のとおりです。

(公益目的事業)

公1 事務局事業

- 1 文化事業
 - ・アーツカウンシル新潟の運営
 - ・主催・共催、表彰顕彰、支援助成等事業
- 2 会議の開催状況

公2 芸術文化会館・音楽文化会館・県民会館事業

○市民芸術文化会館及び音楽文化会館

- 1 文化事業
- 2 文化施設管理受託事業

○県民会館

- 1 文化事業
- 2 文化施設管理受託事業

公3 歴史博物館等・旧小澤家住宅事業

○歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等

- 1 文化事業
- 2 文化施設管理受託事業

○市文化財旧小澤家住宅

- 1 文化事業
- 2 文化施設管理受託事業

(収益事業)

収1 付帯・施設貸与事業

- 1 付帯事業 (各施設)
- 2 施設貸与事業 (各施設)

事業報告の詳細については、次に記載のとおりです。

1 文化事業 61, 269, 736 円

「アーツカウンシル新潟」の運営を通じ、市民の自主的な文化芸術活動を支援したほか、新潟市の文化的な環境の充実、各分野の文化活動の活性化を目的とした事業を実施した。

(1) アーツカウンシル新潟の運営 52, 631, 541 円

東京 2020 大会に向けた文化プログラムの終了後の成果を見据え、市民の文化芸術活動の活性化を図るとともに、国際観光の振興や経済活動の推進につなげ、持続的な文化創造交流都市の推進体制を構築することを目的に、1.市民文化芸術活動支援、2.調査・研究、3.情報発信、4.企画立案の機能を有する専門人材による組織「アーツカウンシル新潟」の運営を行った。

また、コロナ禍で文化芸術活動の実施が困難となる中、新潟市とともにコロナ対策予算を活用した活動再開に向けた各種の支援事業を実施した。

【人員確保・人材育成】※コロナ対策関連の人員確保は、後述。

○H28 年度 専門人材の募集・配置 [PD1 名、PO2 名、スタッフ（臨時）1 名]

・設立日 平成 28 年 9 月 26 日

○H29 年度 専門人材の公募・選考 [PD1 名、PO5 名、スタッフ（臨時）1 名]

○H30 年度 専門人材の公募・選考 [PD1 名、PO4 名、スタッフ（臨時）1 名]

○R1 年度 専門人材の公募・選考 [PD1 名、PO5 名、スタッフ（臨時）1 名]

【環境整備】

○イオン電子マネー「にいがた BUNKA WAON」(ご当地 WAON カード)の販売促進(326,417 円の寄付を受領。)

① アーツカウンシル事業 (50,983,782)

【文化芸術活動の支援】

文化芸術等に関する市民団体等の相談窓口を通じて、企画、広報、財源確保策などの助言、支援を行った。

また、市民主体の文化芸術活動の活性化と、持続・自律化に向けて、昨年度に引き続き当財団が実施している既存の文化芸術活動支援助成事業の募集・助言（相談）・審査・支援を行うとともに、平成 29 年度に新設した、基盤、仕組みづくり及び環境の創出をめざす取り組みに特化した助成事業である「文化芸術基盤整備促進支援事業」を引き続き実施し、募集・助言（相談）・審査・支援を行った。なお、令和 2 年度、当該事業において新たなメニューとして「文化芸術団体ステップアップ助成金」を新設し、団体の運営等における課題解決に向けた取り組みを対象に募集・助言（相談）・審査・支援を行った。また、市や国、民間財団等が実施する助成制度を活用した支援を行った。

加えて、東京 2020 大会に向けた文化プログラムである「beyond2020 プログラム」の認証団体として、事務手続きを担当し、市内の団体に対する助言（相談）・支援を行った。

○相談窓口の開設

- ・相談対応件数 105 件（69 団体等から）
- ・一般相談 29 件
- ・助成関連 56 件
- ・行政相談 20 件

○既存助成事業の募集・助言（相談）・審査・支援

- ・令和 2 年度助成事業の募集・審査・助言（相談）
（申請件数 8 件、採択件数 4 件、総額 68.5 万円）

○文化芸術基盤整備促進支援事業の募集・助言（相談）・審査・支援

- （申請件数 3 件、採択件数 3 件、総額 234.5 万円）

○文化芸術団体ステップアップ助成金の募集・助言（相談）・審査・支援

- （申請件数 1 件、採択件数 1 件、総額 15.5 万円）

○市や国、民間基金等が実施する助成制度を活用した支援への助言

- ・市民団体の助成原資確保に向けた文化庁「文化芸術活動の継続支援事業」及び（公財）内田エネルギー科学振興財団助成金への申請

○beyond2020 プログラム認証事務（受付、審査等）

- ・認証件数 68 件

【調査・研究】

- 現地視察及び支援を通じた市内文化芸術団体に係る実態調査
- 新型コロナウイルス感染拡大下における「新潟市内文化芸術活動現況調査」（自主事業。4 月 13 日～5 月 6 日、5 月 14 日～6 月 8 日の 2 回実施。）
- 公立文化施設におけるダンスを用いたプログラムに対する多角的な評価ガイドラインについての提案（（公財）セゾン文化財団研究助成）

【情報発信】

令和元年度に引き続き、東京 2020 大会に向けた新潟市における文化プログラムを効果的に発信するため、文化庁「文化情報プラットフォーム」と連携したホームページを構築・運営するとともに、アーツカウンシル新潟が行う支援情報のほか、文化プログラム推進に向けて効果的に情報発信を行うためのツールを運営した。

また、市民文化芸術活動団体の掘り起こしや交流によるネットワーク形成等を目的に、市民が気軽に相談・利用できる文化情報スペースを運営するとともに、コロナ禍の状況を踏まえ、オンラインによる有識者等、ゲストを交えた交流企画「語りの場」を計 7 回開催した。

加えて、地域アーツカウンシルの設立を検討する自治体からの視察、ヒアリング（オンラインを含む）等について、積極的に受け入れを行った。

○アーツカウンシル新潟 公式ホームページの構築・運用

- ・年間ビュー数：47,078 ビュー

○アーツカウンシル新潟 SNS の運用

- ・facebook ページ：投稿件数（4 月 1 日～3 月 31 日）：83 件、ページいいね数：626 件、ページフォロワー数：804 件

- ・ twitter : 投稿件数 (4月1日～3月31日) : 37件、フォロワー数 : 66件
- ・ Instagram : 投稿件数 (4月1日～3月31日) : 52件、フォロワー数 : 145件

○文化プログラムネットワークメールの運用

- ・ 主な配信内容 : beyond2020 認証事業の紹介、アーツカウンシル新潟主催イベントの紹介
- ・ 配信回数 (4月1日～3月31日) : 6件、登録件数 : 89件

○文化情報スペースの運営

- ・ アーツカウンシル新潟の事務室に、市民が気軽に文化芸術に関する情報を収集、相談することのできる文化情報スペースとして平成28年度に開設したスペースを運営し、文化情報蓄積等に資するネットワーク形成を図った。(事務所移転に伴い、6月25日に運営を終了。)
- ・ 文化情報スペース利用状況 6回/年

○ゲスト講師を交えた交流企画「語りの場」の開催

- ・ 実施回数 : 計7回、参加107人
- 第1回 音楽の場を「動かす」ことー多様なつながりのなかでの遊び方ー 沼田里衣 [9月5日、14人]
- 第2回 アートスペースの現在と今後ーダンスハウス黄金 4422 の取り組みからー 浅井信好 [10月2日、15人]
- 第3回 若者が創る新潟の強さー著書『踊ることは生きること』よりー 佐藤菜美 [10月21日、15人]
- 第4回 新潟市の食文化の魅力を発信ー米と酒だけではない！を考えるー 江部拓弥 [11月7日、9人]
- 第5回 地方におけるアート活動の事業化を考えるーStudio Kura・糸島芸農の運営事例を通してー 松崎宏史、本間智美 [12月5日、9人]
- 第6回 表現と暮らしとつながりとー日常をとらえなおす活動からー アサダワタル [2月6日、17人]
- 第7回 アートに“ふれる”を考えるーアーティスト・イン・レジデンスの視点からー 勝治真美、佐藤帆乃香 [3月11日、28人]

※講師敬称略

○視察、ヒアリング受入実績

- ・ 受入自治体・機関数 : 6自治体・機関 (市及び AC 新潟受入数 合計)
- ・ 受入自治体・機関名 : 文化庁、埼玉県、和歌山県、京都市、(一財)長野県文化振興事業団、大阪市立大学大学院

【企画・立案】

市の文化政策として行う事業に対して、調査等に基づく専門的な見地から助言や提言を行った。また、新潟市文化創造交流都市ビジョンの成果検証の方法に関して助言を行い、文化創造推進委員会を開催し、それぞれ事業の成果(アウトカム)及び指標について検討を行った。

○行政関係からの相談件数 20件

○文化創造交流都市ビジョン策定ワーキンググループの開催(助言)

- 文化芸術による共生社会推進事業（表現活動調査及び展示、うたづくりワークショップ）協力
- ゆいぽーとアーティスト・イン・レジデンス事業選定委員会委員（作家選定）（杉浦）

【コロナ対策補正予算関連】(8,125,365)

- 新潟市新型コロナウイルスに関する文化芸術相談窓口の開設（5月18日）
- 『新潟市文化芸術活動の実施に関する活動再開ガイドライン』の作成、周知
- 新しい生活様式に基づくチャレンジコンサート事業（8月3日、8月5日）
- 文化芸術団体への寄り添い型支援事業（相談支援のための人材を3人雇用し、対応。9月1日～。）
- 市民交流ステージ開催事業（10月11日～、計9回開催。）
- りゅーとぴあ市民文化祭開催事業（11月28日、12月6日、12月19日、12月20日）
- 企画提案型イベント支援事業
- 文化施設利用促進支援事業

② 文化庁他、委託・補助事業関連 (1,647,759)

- 新潟県文化芸術専門相談窓口業務
 - ・ 新潟市以外を拠点とする文化芸術関係者を対象として、新型コロナウイルスの影響を受けている活動維持・継続を支援するため、感染予防対策を講じた公演や活動手法、活動支援の受け方など、幅広い相談を受けられる専門相談窓口を設置した。
- アーツカウンシルネットワークミーティング（AC-net）に関する運営業務
 - ・ 独立行政法人日本芸術文化振興会（日本版アーツカウンシル）が主催する全国の地域アーツカウンシルの連携組織である AC-net の運営業務を受託するとともに、幹事団体として運営を行った（他は大分県、横浜市）。

(2) 支援助成事業 808,290 円

市民の自主的な文化芸術活動の充実・活性化と新潟市の文化芸術活動の振興を目的として、市民が行う文化芸術事業に対して、上限20万円で助成金を交付した。（助成対象事業は審査会に諮って決定）公募は3回実施したが、新型コロナウイルスの影響を受け、3回目は応募がなかった。

期 別	事 業 実 施 期 間	申請件数	交付件数	交付決定金額
令和2年度 第1回	令和2年4月1日から 令和3年3月31日まで	6件	3件	510,000円
令和2年度 第2回	令和2年7月1日から 令和3年3月31日まで	2件	1件	175,000円
合 計		8件	4件	685,000円

(3) 坂口安吾顕彰事業 5,889,025 円

新潟市が管理する安吾 風の館（旧市長公舎）で下記展覧会を開催したほか、「坂口安吾デジ

タルミュージアム（HP）」の充実、安吾顕彰団体と連携を図っての生誕祭、小中学生の総合学習や新潟市や各自治体等主催の見学、さわやかトーク宅配便への協力等により安吾の普及啓発に努めた。また、引き続き関係資料の調査研究を行った。

新潟市内文化施設一斉休館（4月20日～5月10日）、それ以降も感染拡大による外出自粛による影響で入館者減少傾向は続いた。特に観光客減少は県内外からの来館者が多い当館には大きな痛手となった。

・「安吾と歴史 安吾、日本古代史に挑む」展

開催日 令和2年4月4日～7月26日（4/20～5/10 休館 67日間）

内 容 安吾の歴史への関心は、切支丹研究から始まり、次第に日本古代史へと向けられた。古事記、日本書紀、考古学資料など限られた史料を比較検討し、タンテイが犯人や真相に迫るように、安吾は歴史の真実を読みとこうと試みた。

日本書紀成立1300年にあたることから、日本をアジア的視野に立って捉えようとする安吾の歴史研究の姿勢を紹介し、安吾を通じて日本古代史に思いを馳せていただきたいと考えた。

入館者は少なかったが、展示に興味をもち、熱心に観られる方が多かった。

入場者 488人

・「第6回 旅 飛驒・高山」展

開催日 令和2年8月8日～11月29日（82日間）

内 容 1951年7月中旬、「安吾の新日本地理」取材のため、安吾は飛驒・高山へ赴いた。古代飛驒地方には、大和王朝とも深く関わりのある強大な勢力があり、測量や木工技術に優れ、都や寺社の造営に力を発揮し、「飛驒の匠」と称され、重用されていた。一方で地元では英雄であり、神武、仁徳天皇と繋がりがある「両面宿儺（りょうめんすくな）」が、日本書紀では極端に記述が少ない。安吾はそんな違和感に切り込み、真相を明らかにしようと現地で取材してまわった。

古地図や取材資料、関係書籍などを紹介し、安吾の大胆な推理をわかりやすく紹介展示して、関心を集めた。

入場者 1,390人

・「安吾って!? Part 3」展

開催日 令和2年12月12日～令和3年3月28日（72日間）

内 容 テーマを決めての企画展ではなく、「坂口安吾」という大きなくくりで紹介する、いわゆる常設展的展示、その3回目。

ペンネームの由来やエピソードなどのコラム展示や、愛用していたステッキや旅行鞆、亡くなる直前の取材旅行で着用していたスーツなどの遺愛の品々も展示。

2020年が没後65年にあたるということで、昨年より来館者に好きな作品、心に残る一節などのアンケートを実施し、その結果を回答用紙とともに紹介した。10～30代の女性の回答が多く、好きな作品も多岐にわたり、回答用紙には細かな字でびっしり書かれている。回答用紙にみえるそれぞれの熱い思いが、

一冊を手にとるきっかけになり、新たな安吾ファンを作りだしたようだ。

12月にNHK BS時代劇で「明治開化安吾捕物帖」を原作にドラマ「新十郎捕物帖」が放映されたので、その台本なども紹介。「コロナ禍で安吾の本をたくさん読むことができた」という声もあり、人数以上に反響があった。

入場者 660人

(4) 共催事業 1,850,330円

対象が市内広域におよぶ、文化振興に大きく貢献する以下の文化事業を共催し、負担金を支出した。

- ・第34回新潟市伝承芸能保存会 郷土芸能公演「郷芸」 令和2年7月12日
(新型コロナウイルスにより中止)

- ・第68回新潟市芸能まつり (1,500,000)

開催日 令和2年10月4日～11月23日 入場者 2,929人

- ・第52回新潟市美術展 (350,000)

開催日 前期：令和2年10月14日～18日／後期：令和2年10月21日～25日

入場者 5,057人

(5) 表彰顕彰事業 90,550円

新潟市で開催される公募展に財団賞を交付し、底辺の拡大を図った。

- ・新潟市美術展 6部門
- ・アークベル県民アマチュア絵画展 2部門
- ・新潟県工芸会展 1部門

(6) 芸術家支援事業 0円

新潟市が実施する下記の芸術家支援制度について、広報、申請受付、融資金の振込などの事務を受託した。

- ・助成金等内定者資金融資制度

融資金件数 0件 融資金額 0円

2 会議の開催状況

(1) 評議員会

① 第1回(定時) 令和2年6月10日【書面】

- ・令和元年度事業報告及び決算について
- ・評議員の選任について
- ・理事の選任について

② 第2回 令和2年8月3日【書面】

- ・評議員の辞任に伴う補欠選任について

- ③ 第3回 令和3年3月30日【書面】
- ・評議員の辞任に伴う補欠選任について
 - ・理事の選任について
 - ・監事の辞任に伴う補欠選任について

(2) 理事会

- ① 第1回 令和2年4月1日【書面】
- ・常務理事の選定について
 - ・事務局長の任命について
 - ・常勤役員の報酬等の金額について
- ② 第2回 令和2年5月26日【書面】
- ・令和元年度事業報告及び決算について
 - ・定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について
 - ・主たる事務所の移転について
- ③ 第3回 令和2年6月10日【書面】
- ・理事長、専務理事及び常務理事の選定について
 - ・事務局長の任命について
 - ・常勤役員の報酬等の金額について
- ④ 第4回 令和2年7月31日【書面】
- ・第2回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について
- ⑤ 第5回 令和2年11月19日
- ・令和2年度補正予算について
 - ・規則、規程の一部改正（処務規程）について
 - ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について（報告）
 - ・新型コロナウイルス関連について（報告）
- ⑥ 第6回 令和3年3月25日
- ・令和2年度補正予算について
 - ・規則、規程の一部改正（職員就業規則、任期付職員就業規則、嘱託職員就業規則、特別職員就業規則、臨時職員就業規則、処務規程、給与規程、法令遵守規程）について
 - ・新潟市歴史博物館「みなとぴあ歴史発見プロジェクト事業」特定費用準備資金取扱規程の制定について
 - ・令和3年度事業計画及び予算について
 - ・第3回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について
 - ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について（報告）

○ 新潟市民芸術文化会館及び新潟市音楽文化会館

1, 053, 070, 128 円

1 文化事業 362, 015, 188 円

市民芸術文化会館の三つの専門ホールや音楽文化会館等諸施設を十分に生かした、質の高い創造性あふれる鑑賞事業を主催するとともに、音楽などの愛好者の拡大とジュニアの育成を目的とした事業を行なった。

また、市民芸術文化会館、音楽文化会館、及び県民会館を芸術文化活動の拠点施設に、全国に向けて創造的に音楽・舞台芸術などを発信しながら芸術文化の振興を図った。

令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止及び拡大リスク低減における4月21日(火)～5月10日(日)の臨時休館による事業実施の休止、また一部事業計画の変更(日程、事業内容等)を行い、新潟市等の感染予防対策ガイドラインを遵守して安全安心の事業運営に努めた。

(1) 音楽事業 133, 568, 116 円

東京交響楽団との提携による質の高い演奏と幅広い曲目内容の演奏会、日本を代表するコンサートホールにふさわしい演奏家を招聘した世界水準の演奏会、親子を対象とした音楽ファン拡大のための演奏会など、バラエティに富んだプログラム内容を実施する。企画内容においても硬軟取り混ぜ、市民各層のさまざまなニーズに応えるラインナップで実施した。

「東京交響楽団新潟定期演奏会」は新型コロナウイルス感染拡大により大幅なプログラム、日程等を変更して「東京交響楽団新潟特別演奏会」として開催した。

① 鑑賞事業 (91,271,279)

ー東京交響楽団シリーズー

<当初>・東京交響楽団新潟定期演奏会

第119回～ベルク：ヴァイオリン協奏曲～	令和2年5月31日(日)
第120回～マーラー：交響曲第5番～	令和2年7月26日(日)
第121回～バルトーク：管弦楽のための協奏曲～	令和2年9月27日(日)
第122回～チャイコフスキー：交響曲第6番悲愴～	令和2年11月1日(日)
第123回～シューベルト：交響曲第8番グレイト～	令和2年12月6日(日)
第124回～モーツァルト：交響曲第40番～	令和3年3月21日(日)

<変更実施>・東京交響楽団新潟特別演奏会

「2020 盛夏」～ベートーヴェン：交響曲第3番「英雄」～	令和2年7月26日(日)
「2020 中秋」～バルトーク：管弦楽のための協奏曲～	令和2年9月27日(日)
「2020 霜月」～チャイコフスキー：交響曲第6番悲愴～	令和2年11月1日(日)
「2020 初冬」～シューベルト：交響曲第8番グレイト～	令和2年12月6日(日)
「2021 睦月」～ベートーヴェン：「フィデリオ」序曲ほか～	令和3年1月26日(火)
「2021 弥生」～モーツァルト：レクイエム～	令和3年3月21日(日)

ー東響定期+αー

<中止>・ザルツブルグ管弦楽団	令和2年11月25日(水)
-----------------	---------------

＜中止＞・深セン交響楽団	令和2年5月9日(土)
ーピアノ・リサイタルシリーズー	
＜中止＞・No.40 牛田智大「月光&ショパン」	令和2年5月3日(日)
・No.41 松田華音「熱情&ロシア名曲集」	令和2年7月9日(木)
・No.42 藤田真央「悲愴&モーツァルト他」	令和2年8月26日(水)
ーリ्यूとぴあ器楽リサイタルシリーズー	
＜中止＞・No.9 石田泰尚ヴァイオリン・リサイタル	令和2年6月7日(日)
ーオルガン・シリーズー	
・石丸由佳(新専属オルガニスト)オルガン・リサイタル	令和2年6月20日(土)
・オルガンクリスマスコンサート2020	令和2年12月24日(木)
ーホール体験事業ー	
・1コインコンサート	
＜中止＞Vol.106「サクソフォン四重奏」	令和2年4月24日(金)
＜中止＞Vol.107「ヴァイオリン」	令和2年6月24日(水)
Vol.108「金管五重奏」	令和2年7月28日(火)
Vol.109「クラリネット」	令和2年9月1日(火)
Vol.110「オルガン」	令和2年10月21日(水)
Vol.111「マリンバ」	令和2年12月3日(木)
ー室内楽ー	
＜中止＞・No.38 奥村愛ヴァイオリン四重奏	令和2年5月2日(土)
＜中止＞・No.39 ウルトラ・スーパー・チェロズ	令和2年5月3日(日)
・No.40 椿三重奏(Vn.Vc.P)	令和2年9月5日(土)
＜中止＞・No.41 ジュリアード弦楽四重奏団	令和2年10月16日(金)
ーその他ー	
・ドラゴンクエスト オーケストラ・コンサート 2回公演	令和2年9月6日(日)
・オペラシアターこんにゃく座「アルレッキーノ」	令和2年12月20日(日)
＜中止＞・ジルベスターコンサート	令和2年12月31日(木)
＜追加＞・ニューイヤー・ガラ～コンチェルトの日～	令和3年1月10日(日)
ー振替公演ー	
※令和元年度に予定していたが、新型コロナウイルス流行のため、公演を延期したもの	
＜中止＞・莊村清志ギター・リサイタル	当初:令和2年3月1日(日)
	→＜延期＞5月6日(木・祝) 音文
＜中止＞・徳永二男ヴァイオリン・リサイタル	当初:令和2年3月8日(日)
	→＜延期＞5月24日(日) 音文
＜中止＞・山本真希オルガン・リサイタル No.27	当初:令和2年3月15日(日)
	→＜延期＞5月30日(土)
＜変更実施＞・リ्यूとぴあアウトリーチ事業登録アーティスト ジョイント・リサイタル	当初:令和2年3月7日(土)
	→＜延期＞6月3日(水)秋葉区
	令和3年2月20日(土) 音文

② 育成・普及事業 (42,296,837)

ー子供たちのための音楽会ー

・「オーケストラはキミのともだち」(2回公演) 令和2年8月1日(土)

ー市民参加合唱団ー

・にいがた東響コーラス 令和2年11月～令和3年3月

ージュニア等育成事業ー

・ジュニアオーケストラ教室育成事業 通年

第39回演奏会 令和2年8月30日(日)

クリスマス・コンサート(音文) 令和2年12月20日(日)

全国公立ジュニアオーケストラ連絡協議会(豊田市) 令和2年11月

・ジュニア合唱団育成事業 通年

<中止>第30回定期演奏会 令和2年7月19日(日)

<中止>第42回新潟県少年少女合唱団合同演奏会 令和2年8月16日(日)

<中止>クリスマス・コンサート(音文) 令和2年12月13日(日)

<中止>にいがたジュニアコーラス・フェスティバル2021(北区文化会館) 令和3年2月予定

・ジュニア邦楽合奏教室育成事業 通年

第25回定期演奏会 令和2年7月25日(土)

<中止>和楽器わくわく体験デイ 令和2年8月9日(日)

・ジュニア音楽教室第17回スプリングコンサート(2回公演)
令和3年3月28日(日)

ーその他ー

・オルガンサマーデイズ2020

「思いっきりオルガン演奏体験」 令和2年8月5日(水)

「誰でもオルガン演奏体験」 令和2年8月8日(土)

「1コインオルガンコンサート」 令和2年8月8日(土)

・「パイプオルガンを弾いてみよう」 令和2年10月31日(土)、11月3日(火)

<中止>・りゅーとぴあアウトリーチ事業 通年

<中止>田村亮太サクソフォン・リサイタル 令和2年12月11日(金)

<中止>小武内茜ファゴット・リサイタル 令和2年12月12日(土)

<追加>・ステイ・アット・ニイガタ コンサート(6回公演) 令和2年7月4日(土)、5日(日)

・コンサートホール企画連絡会議 令和2年9月、令和3年3月

<追加>・りゅーとぴあ音楽アーツマネジメント研修 令和2年8月26日(水)～29日(土)

(2) 演劇事業 62,225,804 円

多様な専門機能を持つ劇場を活用し、公共や民間の劇場がプロデュースした企画及び小劇場系の演劇作品や伝統芸能など様々な公演を開催し、にぎわいのある劇場空間の創造と観客の拡大を目指した。演劇スタジオ APRICOT を通して次世代を担う子どもたちのなかから舞台芸術に携わる優れた人材や観客を育むとともに、ワークショップの実施により、広く演劇に携わる人材の育成と市民への普及啓発を図った。

当初実施予定のプロデュース企画「源氏物語の女たち」は新型コロナウイルスの影響により公演稽古などの製作進行に支障が生じたため事業実施を延期した。

① 鑑賞事業 (47,366,334)

- <中止> ・「未練の幽霊と怪物」 令和2年7月1日(水)
- <中止> ・M&Oplays「リムジン」 令和2年7月5日(日)
- ・第三十二回ふるまち新潟をどり(2回公演) 令和2年9月20日(日)
- ・「ゲルニカ」(3回公演) 令和2年10月17日(土)～18日(日)
- ・「野田版 真夏の夜の夢」(2回公演) 令和2年11月7日(土)～8日(日)
- ・NE/ST第9弾公演 JACROW「闇の将軍」シリーズ(6回公演)
令和2年11月13日(金)～14日(土)
- ・白石加代子「百物語」(2回公演) 令和2年12月12日(土)
- <中止> ・前川知大演出作品「(演目未定)」(2回公演) 令和2年12月26日(土)～27日(日)
- ・「スルース」(2回公演) 令和3年2月10日(水)～11日(木・祝)
- ・水都寄席「春風亭小朝独演会」 令和3年2月21日(日)
- ー追加事業ー
- ・M&Oplays「そして春になった」(2回公演) 令和2年12月18日(金)
- ・カンパニーデラシネラ「ドン・キホーテ」(2回公演) 令和3年1月17日(日)

② 育成・普及事業 (7,595,643)

- ・りゅーとぴあ演劇スタジオ APRICOT 通年
- 2020 夏季公演「チョコレート・アンダーグラウンド」(2回公演) 令和2年8月10日(月・祝)
- 2021 春季公演「砂の妖精」(4回公演) 令和3年3月13日(土)～14日(日)
- ・中村ノブアキ戯曲リーディングワークショップ 令和3年1月23日(土)～24日(日)
- ・シニアリーディング体験ワークショップ 令和3年2月26日(金)～28日(日)
- 成果発表会 令和3年2月28日(日)

③ 新潟発創造事業 (7,263,827)

- <追加> ・りゅーとぴあ発物語の女たちシリーズ「黒い雨」 令和2年8月6日(木)
- <中止> ・りゅーとぴあ発「源氏物語の女たち」(2回公演) 令和3年1月10日(日)～11日(月)
- 〔東京公演〕あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター) 8回公演
令和3年1月21日(木)～31日(日)

(3) 能楽事業 21,705,109 円

伝統様式に則った本格的な能舞台を活用し、子どもから一般までを対象として普及に重点をおいた鑑賞公演を実施した。これに際し、訪日外国人を意識した多言語パンフレットも作成。さらに能狂言に対する知識や興味を高める能楽基礎講座。子供たちを対象とした囃子、謡と狂言のワークショップなどの能楽体験ができる事業を開催することで若年層への能楽普及を図った。

市内の小中学校に出向く能楽普及を目的としたアウトリーチは感染拡大防止のため実施を中止した。

① 鑑賞事業 (15,292,263)

- <中止> ・春の能楽鑑賞会「藤戸」【宝生流】 令和2年5月9日(土)
- ・秋の能楽鑑賞会【観世流】 令和2年10月17日(土)

・野村万作・萬斎狂言公演（2回公演）	令和2年11月15日(日)
<追加>・新春能楽鑑賞会【宝生流】	令和3年1月30日(土)
・「雪見能」	令和3年2月7日(日)

② 育成・普及事業（6,412,846）

・能楽基礎講座「若手能楽師に聞く 能の楽しみ」（3回）[中止]	令和2年4月10日(金)
	令和2年7月11日(土)
	[追加] 令和2年10月5日(月)
	令和2年12月13日(日)
・能楽堂で楽しむ 秋の夜長	令和2年9月4日(金)
・「さわってみよう能の世界」	令和2年12月5日(土)
<中止>・能楽ワークショップ「囃子」&アウトリーチ「囃子」（能楽堂・市内小中学校）	令和2年6月9日(火)～10日(水)【予定】
<追加>・能楽堂で楽しむ 雛まつり	令和3年2月23日(火・祝)
<中止>・能楽アウトリーチ「謡」（市内中学校）	令和2年6月23日(火)～24日(水)
	令和2年7月8日(水)～9日(木)
<追加>・おとなのための能楽講座「能で美しく」	令和2年8月29日(土)
<追加>・おやこ“能”たいけん教室	令和2年8月29日(土)
<変更実施>・能楽ワークショップ「狂言」	令和3年1月26日(火)

※併せて企画の1/27(水)狂言アウトリーチは実施できなかった

(4) 舞踊事業 90,213,092 円

全国唯一のレジデンシャル・ダンス・カンパニーである Noism の活動による、水準の高い新潟オリジナルの舞踊作品を国内外に向けて創造発信することを通して舞台芸術の振興を図る。さらにアーティストが地域に定住する特性を生かし、舞台芸術に携わる優れた人材や観客を育む。また、新潟市や他都市の劇場・音楽堂等との連携・協力関係を構築することにより、全市的及び地方の拠点施設としての役割と地位を高め、文化創造都市としての更なるイメージ向上を目指した。

新型コロナウイルス感染拡大のため、6月企画「春の祭典」+「FratresⅢ」は東京公演、札幌公演、ロシア・ウラジオストク公演が中止。プレビュー公演として新潟公演、豊橋公演を日程変更して開催した。

新潟発創造事業

・Noism Company Niigata カンパニー運営事業	
・Noism0+Noism1+Noism2 合同公演 新作『春の祭典』+新作『FratresⅢ』	
<中止>新潟公演（3回公演）	令和2年6月12日(金)～14日(日)
<中止>東京公演（2回公演）	令和2年6月19日(金)～21日(日)
<中止>札幌公演（2回公演）【受託公演】	令和2年7月2日(木)～3日(金)
<中止>豊橋公演（1回公演）【受託公演】	令和2年12月12日(土)
<中止>ロシア・ウラジオストク公演（1回公演）【受託公演】	令和2年10月
<変更実施>プレビュー公演（2回公演）	令和2年8月27日(木)～28日(金)
<変更実施>プレビュー公演（豊橋公演）【受託公演】	令和2年12月12日(土)

- ・『Duplex』 Noism0/Noism1
新潟公演 (12 回公演) 令和 3 年 1 月 22 日(金)～2 月 11 日(木・祝)
埼玉公演 (5 回公演) 令和 3 年 2 月 25 日(木)～28 日(日)
- ・ Noism 関連事業「柳都会」 (2 回公演) 令和 2 年 10 月 11 日(日)
令和 3 年 3 月 7 日(日)
- ・ Noism オープンクラス (13 回) 令和 2 年 11 月 1 日 (日) ～令和 3 年 3 月 20 日 (土)
- <中止>・ Noism アウトリーチ (中学校・高校) 日程未定
- ・ワンディ・スクール(高校ダンス部対象) 令和 2 年 12 月 16 日(水)
- ・視覚障がい者からだワークショップ 令和 2 年 12 月 19 日(土)
- <追加>・ Noism1 メンバー振付公演 (3 回公演) 令和 3 年 3 月 27 日(土)～28 日(日)

ー振替公演ー

※令和元年度に予定していたが、新型コロナウイルス流行のため、公演を延期したもの

- ・ Noism2 定期公演 Vol.11 (4 回公演) 令和 2 年 3 月 6 日(金)～8 日(日)
→<変更実施>令和 2 年 7 月 10 日(金)～12 日(日)

ーその他受託事業ー

- ・ TOKYO MET SaLaD MUSIC FESTIVAL 2020 《サラダ音楽祭》
メインコンサート 出演: Noism0+Noism1 令和 2 年 9 月 6 日(日)
- ・ 新潟市洋舞踊協会第 9 回記念合同公演「畔道にて～8 つの小品」 演出振付: 金森穰
令和 2 年 10 月 4 日(日)
- ・ 和楽器集団ぐるーぷ新潟 20th コンサート 出演: Noism2 令和 2 年 10 月 4 日(日)
- ・ 親子のためのからだワークショップ 令和 2 年 10 月 31 日(土)
- ・ ロームシアター京都開館 5 周年記念
シリーズ 舞台芸術としての伝統芸能 vol.4 「雅楽」 出演: Noism0
令和 3 年 1 月 10 日(日)
- ・ イベント「絶やさない新潟のおもてなし」(ホテルオークラ新潟) 出演: Noism0+Noism1+Noism2
令和 3 年 3 月 21 日(日)

ー舞踊鑑賞事業ー

- ・ C o.山田うん 新作ダンス公演「コスモス」 1 回公演 令和 3 年 3 月 6 日(土)

(5) 共催事業 11,374 円

芸術団体、文化事業実施団体等とのタイアップにより、効果的な事業運営と地域の芸術文化振興を図るほか、文化団体との共催による全国規模の事業を行なった。

- <中止>・春の新潟音楽ウィーク(新潟市) 令和 2 年 5 月 2 日(土)～3 日(日)
- <中止>・新潟劇王(新潟劇王実行委員会) 令和 2 年 5 月 4 日(月)～6 日(水)
- <中止>・ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団 (TeNY) 令和 2 年 9 月 17 日(木)
- ・東京佼成ウィンドオーケストラ新潟公演(東京佼成ウィンドオーケストラ) 令和 2 年 11 月 20 日(金)
- ・第 68 回新潟市芸能まつり(新潟市音楽芸能協会)
令和 2 年 10 月 4 日 (日) ～11 月 23 日 (月・祝)
- <中止>・劇場で踊ろう! ダンスキッズ大集合(県女子体育連盟) 令和 3 年 1 月 24 日(日)

(6) 広報営業事業 24, 400, 340 円

公演情報を積極的に発信するとともに、チケット購入者の拡大や大口の顧客確保、ホールスポンサー制度など、広報・営業活動を効果的に展開した。合わせて上質な施設機能を広くアピールすることで、会館の知名度の拡大と利用促進を図った。

昨年からの新チケットシステムの稼働により、友の会とインターネット会員の獲得、業務の効率化を図った。

また、指定管理を受託している新潟県民会館の事業も併せて広報・営業活動を効果的に展開し、市民芸術文化会館、音楽文化会館、県民会館の3館一体管理による文化ゾーンとしての魅力を高め発信した。

- ・ 広報営業事業
- ・ 音楽広報事業
- ・ 演劇広報事業
- ・ TV放送・映像配信（コロナ補正財源）

(7) 調査研究諸費 153, 224 円

次年度以降の事業の企画立案や円滑な施設運営を図るため、先進ホールの運営や優れた公演などについて調査・研究を進め、ノウハウの取得や人的交流の拡大に努めた。

(8) 事業企画諸費 9, 531, 861 円

音楽・演劇・舞踊等の各分野において、その専門家からの指導・助言を受け、優れた芸術文化事業を効果的に企画・実施するとともに、専属オルガニストを引き続き配置し、オルガン音楽の魅力を内外に発信した。

- ・ 芸術監督（音楽部門・演劇部門・舞踊部門）
- ・ 専属オルガニスト

(9) 事業管理経費 20, 206, 268 円

票券業務、託児サービス業務、検温等受付対応委託（コロナ補正財源）などを実施し、お客様の利便性向上と新型コロナウイルス感染防止に努めた。

2 文化施設管理受託事業 691, 054, 940 円

(1) 市民芸術文化会館管理事業 567, 705, 746 円

平成10年10月に開館した市民芸術文化会館は、通年の自主事業・貸館事業等に市民を始めとする多くの方々に来館いただいている。

令和2年度も一層のサービス向上に努め、より多くの来館者に安心・快適に利用してもらえるよう管理運営を行った。

- ① コンサートホールの管理
- ② 劇場の管理
- ③ 能楽堂の管理

- ④ ギャラリーの管理
- ⑤ スタジオの管理
- ⑥ 練習室の管理

※ 令和2年度市民芸術文化会館入館者数 127, 581 人

(2) 音楽文化会館管理事業 123, 349, 194 円

昭和 52 年 11 月に開館した音楽文化会館は、13 の練習室と成果発表に多く使用されるホールを備えた全国でも特徴のある施設として永く市民に親しまれている。

令和 2 年度も市民芸術文化会館及び県民会館との一体的な管理を図りながら会館の管理運営を行った。

- ① ホールの管理
- ② 練習室（13 室）の管理

※ 令和2年度音楽文化会館入館者数 57, 694 人

1 文化事業 2, 784, 297 円

大小の専門ホールなどの諸施設を活用した、大規模で質の高い、多様な鑑賞事業を展開する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、予定していた多くの自主事業が中止になり、事業収益に大幅な落ち込みがあった。

なお、9月12日以降は大規模改修工事の影響により、施設を活用した事業を実施することができなかったため、アウトリーチやワークショップなどの館外事業を、従来よりも規模を拡大して展開した。

また27年度より開始した、チケット販売システムや広報媒体について、新潟市民芸術文化会館との共用を開始し、利用者の利便性の向上と事業の拡大・促進を図った。

(1) 歌舞伎事業

- ・歌舞伎プレセミナー 令和2年4月13日(月)
(新型コロナウイルスにより中止)
- ・松竹大歌舞伎 2回公演 令和2年5月12日(火)
(新型コロナウイルスにより中止)
- ・松竹大歌舞伎ポスター展 in 西山 会場：西山ふるさと館 令和3年1月19日(火)～
令和3年1月24日(日)
- ・松竹大歌舞伎ポスター展 in 南魚沼 会場：南魚沼市民会館 令和3年2月23日(火祝)～
令和3年2月28日(日)
- ・松竹大歌舞伎ポスター展 in 燕 会場：燕市文化会館 令和3年3月5日(金)～
令和3年3月8日(月)

(2) 展示事業

- ・刀剣乱舞 23日間 令和2年4月18日(土)～
令和2年5月10日(日)
(新型コロナウイルスにより中止)

(3) 体験型ショー事業

- ・恐竜どうぶつ園 2回公演 令和2年8月7日(金)
(新型コロナウイルスにより中止)

(4) ミュージカル事業

- ・劇団四季「コーラスライン」 2回公演 令和2年7月22日(水)～
令和2年7月23日(木祝)
(新型コロナウイルスにより中止)
- ・劇団四季「コーラスライン」会場：新潟テルサ 1回公演 令和2年12月21日(月)
- ・宝塚歌劇「月組全国ツアー」 2回公演 令和2年9月10日(木)
(新型コロナウイルスにより中止)

(5) 音楽事業

- ・中澤卓也コンサート 2 回公演 令和 2 年 7 月 4 日 (土)
(新型コロナウイルスにより中止)
- ・鼓童×ロベール・ルパージュ<NOVA> 3 回公演 令和 2 年 7 月 10 日 (金) ~
令和 2 年 7 月 12 日 (日)
(新型コロナウイルスにより中止)
- ・ふれあいホッとコンサート 1 回公演 令和 2 年 7 月 19 日 (日)
(新型コロナウイルスにより中止)
- ・鼓童「鼓」 会場：新潟テルサ 1 回公演 令和 2 年 12 月 23 日 (水)

(6) 普及事業

- ・奏でつづけよう！ 令和 2 年 8 月 7 日 (金) ~
令和 2 年 8 月 10 日 (月祝)
- ・新潟県文化祭 2020 開幕式 令和 2 年 8 月 20 日 (木)
- ・出張！たたこう館 会場：加茂文化会館 令和 2 年 11 月 28 日 (土)
- ・出張！たたこう館 会場：新潟市秋葉区文化会館 令和 2 年 11 月 29 日 (日)
- ・太鼓体験ワークショップ 会場：五泉市内 令和 2 年 11 月 30 日 (月)
- ・スマイルコンサート 会場：西山ふるさと館 令和 3 年 2 月 21 日 (日)
- ・フルート講座～あつまれ！フルートまつり～第 1 回講座 令和 3 年 3 月 7 日 (日)
会場：村上市民ふれあいセンター

(7) 育成事業

- ・アート・プロデュース講座 会場：新潟市音楽文化会館 令和 3 年 2 月 19 日 (金)

2 文化施設管理受託事業 79, 908, 584 円

県民会館管理事業

昭和 42 年 12 月に開館した新潟県民会館は、大小のホールと 2 つのギャラリー、4 つの会議室を中心に、コンサートや演劇、美術展、会議など幅広い用途で多くの方々に利用して頂いている。

平成 27 年度より当財団が県民会館の指定管理者となったが、これまで以上にお客様が安心かつ円滑に施設を利用して頂けるよう、上質なサービスの提供に努めるとともに、会館運営のさらなる効率化を図った。

なお、新型コロナウイルスや大規模改修工事の影響により、イベント数が激減したため、利用率や来館者などに大幅な落ち込みがあった。

- ① 大ホールの管理
- ② 小ホールの管理
- ③ ギャラリーの管理
- ④ その他施設（会議室・談話室、展示コーナー、情報ラウンジ等）の管理

※ 令和2年度新潟県民会館入館者数 9, 515 人

○ 新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等

152,683,378 円

1 文化事業 18,812,612 円

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため、以下の各種事業を行った。

(1) 展示運営更新 83,600 円

人と水の関りをテーマに新潟市の歴史を紹介。学芸員やボランティアによる展示解説を行った。また、川村修就コーナーの展示ケースを、4月・5月・7月・11月の4回、展示替えした。

(2) 企画展示事業 6,198,079 円

興味深いテーマを設定し、地域の歴史・文化を楽しく分かりやすく市民に伝える展示を行った。今年度は指定管理事業として以下の4本の企画展を開催した。

① 「いっぴんー学芸員おすすめの品ー」展

みなとびあの収蔵品の中から各学芸員がおすすめする「いっぴん」を選び見どころとともに紹介した。

開催期間 令和2年4月11日～6月21日 44日間

観覧者数 1,085人（うち有料観覧者 681人、無料観覧者 404人）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4/21～5/10を臨時休館とし、会期を当初の6/7から6/21までに延長した。

② 「潟のくらし」展

新潟市域の潟や周辺の低湿地を活かしつつ営んできた先人の暮らしを振り返るとともに、潟をめぐる歴史・生物・地質など各分野の知見を紹介した。

開催期間 令和2年7月11日～8月23日 38日間

観覧者数 2,792人（うち有料観覧者 2,014人、無料観覧者 778人）

③ 第17回むかしのくらし展「新潟の昭和」

令和へと改元され、子どもたちにとっては遠い過去の時代となった昭和を取り上げ、その時代の新潟の人々の暮らしや風俗、町の様子などを紹介した。親・祖父母世代にとっては記憶に残る懐かしい時代であり、展示を媒介として世代を超えた語らいの場となった。

開催期間 令和2年9月12日～11月3日 47日間

観覧者数 10,039人（無料観覧者）

④ 「収蔵品展・新収蔵品展」

館収蔵資料を効果的に公開するため、テーマを設けて資料を紹介する収蔵品展を毎年開催しているが、今年度は「ことわざ慣用句事典」というテーマで資料を紹介した。また、令和2年度に新たに受け入れた資料を紹介する新収蔵品展を開催した。

開催期間 令和3年2月13日～3月28日 36日間

観覧者数 2,080人（無料観覧）

(3) 教育普及事業 357, 267 円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人的資源や博物館が有するモノや情報、ライブラリーなどを活用して、歴史に関するさまざまなサービスの提供や活動の提案を行った。ただし、感染症拡大防止のため制限・中止したものもある。

① 体験の広場事業

体験の広場ではハンズオン機能を制限し、一般見学者には展示見学を主とする施設運用に変更した。また、施設や資料を活用して実施する小学生や家族連れ・大人等を対象とした各種の体験プログラムについては、6月末から感染防止策を行ったうえで計56回実施した。

② 博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等を行うほか、職場体験の中学生を受け入れるとともに、地域学習として市内の小学校へ出向いて授業を行った。また、新潟大学と連携して当館学芸員が講師をつとめる寄附講義はリモートで開講した。大学生を対象とする博物館実習は、通年および夏休み期間集中の2本を実施した。

③ 講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案することを目的に、幅広いニーズに対応するための以下の各種講座を開催した。

・博物館講座 全9回、古文書入門講座 全3回

※博物館講座1回は、感染症拡大防止のため中止とした。

④ ボランティア事業

敷地ガイドや常設ガイド、体験の広場のプログラムの実施・補助として活動するボランティアを養成するとともに、感染拡大防止に配慮しながら活動を支援した。登録者数123人。

(4) 施設普及事業 1, 558, 953 円

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」(3回)、年報などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図った。

① 地域連携事業の実施

例年、博物館近隣の市民団体と共催で企画・開催している「堀とさくらのコンサート」、「夕涼みコンサート」、「みなと・しもまち・川まつり」は、感染症拡大防止のため中止となった。

新潟観光コンベンション協会が主催し、当館を会場に開催された「ニイガタ・クリスマス・マーケット 2020」(12/18～25)に全面協力した。夜間に開催され、プロジェクションマッピングやイルミネーション、出店などでにぎわった。

② みなとびあファンクラブ

博物館の情報を定期的に会員に向けて提供した。また、会員向けの企画展鑑賞会・まちあるき「新潟の近代化をたどる」(10/10)・館長バスツアー「村松・堀家をめぐる旅」(9/30)・館長講演会「孤峰俊明所懐—五十嵐俊明展に寄せて—」(12/19)・学芸員による講座「絵図でみる江戸時代の新潟町」(2/11)を実施した。

(5) 調査研究事業 612, 513 円

主に企画展示や収蔵品展に関連した調査・研究を実施した。

そのほか、学芸員の専門分野における研究や館活動を通じた資料調査も随時行い、その成果は博物館講座を通じて市民に報告・還元するとともに、主なものを『研究紀要 17 号』にまとめた。

(6) 資料整理事業 3, 040, 387 円

寄贈を受けたり、購入したりした歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行った。

① 保存環境管理

館蔵資料の長期保存のため、展示室やケースなどの展示施設をはじめ、収蔵施設である本館収蔵庫・旧木場小学校、板井保育園等について、各種の保存環境調査や清掃、防虫対策のためのくん蒸など、I P M に則った各種の保存環境管理を行った。

② 資料収集整理

地域の歴史を語る資料を収集するとともに、資料を管理し活用するために、資料の基礎的データや資料の詳細情報を調査・記録した。

(7) 自主事業「歴史発見プロジェクト」 6, 961, 813 円

新潟の歴史に親しみ、自らが歴史を発見する喜びを知ってもらうため、歴史を題材とした以下の自主事業を行った。

① 企画展

「生誕 320 年 五十嵐浚明」展

新潟町に生まれた江戸時代中期の絵師・五十嵐浚明の生誕 320 年を記念し、新潟で大切にされてきた作品をはじめ、各地に残る作品を広く集めて紹介した。

※芸術文化振興基金助成事業

開催期間 令和 2 年 11 月 14 日～12 月 27 日 36 日間

※前後期展示替え実施

観覧者数 3,252 人（うち有料観覧者 1,647 人、無料観覧者 1,605 人）

「しろね絞り展」

「サークルしろね絞り」との共催で、サークルのメンバーが制作した新潟市無形文化財である白根絞りの作品を展示紹介した。

開催期間 令和 3 年 1 月 16 日～1 月 31 日 14 日間

観覧者数 1,064 人（無料観覧者）

② 中級古文書演習

実際の古文書を読むため、全 10 回の実践向け演習を行った。

※当初全 20 回を予定していたが、感染症拡大防止のため前半 10 回（4～9 月）を中止とした。

③ こども歴史クラブ

小学生を対象にクラブ員を募り（会員 10 名）、古代から近現代までの人々の暮らしに関わる体験プログラムを計 8 回実施した。

※5 月～6 月の 2 回を感染症拡大防止のため中止とした。

④ 大人のための体験プログラム「表具の技法でランプづくり」

屏風、軸物、巻物などの製作は古来からの日本の美術鑑賞には欠かせない表具の技術であるが、今回は屏風の表具方法を用いて行灯風の灯りカバーを作った。(3/21、参加 12 人)

⑤ 歴史発見プロジェクト 5 周年記念イベント「古町芸妓の舞」

エントランスホールに仮設ステージを設置し、みなとまち新潟と新潟古町花街・芸妓の説明をし、新潟古町芸妓から踊りを披露してもらった。また、お座敷遊び(樽拳)の紹介・体験、芸妓さんとの記念撮影も行った。(3/31、観覧 130 人)

2 文化施設管理受託事業 133, 870, 766 円

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等の管理運営を行った。

(1) 歴史博物館管理事業

- ① 博物館本館(常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等)
- ② 旧第四銀行住吉町支店(応接室、会議室、日本間)
- ③ 屋外施設(広場、堀、園路等)

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

- ① 旧新潟税関庁舎
- ② 史跡(石段、石積み、石庫等)

(3) 信濃川左岸緑地管理事業

※ 令和2年度歴史博物館入館者数 61, 151 人

1 文化事業 2, 087, 048 円

指定管理の受託事業者として旧小澤家住宅の設置目的に基づき、常設展示とともに企画展事業や教育普及事業などを積極的に開催し、来館者の増加に努めた。

なお、事業の開催に当たってはボランティアの皆さんからガイドを行っていただいた。

【旧小澤家住宅の設置目的】

市文化財に指定された旧小澤家住宅を活用し、みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する。

(1) 常設展示・企画事業 710, 199 円

【常設展示】

旧小澤家住宅の概要と小澤家の来歴、そして「みなとまち新潟」の歴史や生活文化について、グラフィックパネルで紹介した。

11月14日（土）には開館以来の延べ来館者数 15 万人を達成し、15 万人目のお客様にプレゼント（新潟漆器の菓子皿）をお渡しするセレモニーを行った。

【企画事業】

旧小澤家住宅の雰囲気と風合いに合わせた日本の伝統的な工芸品展などを開催した。

① 桜井進一氏写真展「新潟むかし：昭和の記憶・他門川」

桜井進一氏が撮影した他門川の写真を展示紹介し、往事の姿を回顧した。

開催期間 令和 2 年 4 月 4 日（土）～4 月 19 日（日）

令和 2 年 5 月 12 日（火）～5 月 31 日（日）

※5 月 10 日までの予定であったが、4 月 20 日から 5 月 11 日まで閉館していたため延長した。

観覧者数 299 人（有料観覧者 261 人、無料観覧者 38 人）

② ミニ企画展「端午の節句飾り」展

小澤家に伝わる端午の節句飾りを展示した。

開催期間 令和 2 年 4 月 7 日（火）～4 月 19 日（日）

令和 2 年 5 月 12 日（火）～6 月 3 日（水）

※4 月 25 日から 5 月 6 日までの予定であったが、閉館等にあわせて日程を調整した。

観覧者数 288 人（有料観覧者 250 人、無料観覧者 38 人）

③ 「和時計」展

時香盤や和時計を展示し、日本の時計について紹介した。

開催期間 令和 2 年 5 月 23 日（土）～6 月 14 日（日）

観覧者数 314 人（有料観覧者 263 人、無料観覧者 51 人）

協力：新潟ハイカラ文庫

④ 「着物」展

小澤家で使用された着物や和装品を展示紹介した。

開催期間 令和 2 年 6 月 20 日（土）～7 月 19 日（日）

観覧者数 586 人（有料観覧者 478 人、無料観覧者 108 人）

協力：大嶋屋

⑤ 「みんなの問題・海のごみ」展

一般社団法人 J E A N 所蔵の海ゴミ問題啓発に関する写真パネルを展示した。

市内でビーチコーミングをされている方からお借りした、新潟の浜で拾える漂着物の展示も行った。

開催期間 令和 2 年 7 月 18 日（土）～8 月 2 日（日）

観覧者数 399 人（有料観覧者 340 人、無料観覧者 59 人）

協力：一般社団法人 J E A N

⑥ 「うちわ」展

夏にあわせて、当館所蔵のうちわを展示紹介した。

開催期間 令和 2 年 7 月 25 日（土）～8 月 30 日（日）

観覧者数 670 人（有料観覧者 582 人、無料観覧者 88 人）

⑦ 夏の寝間展示

夏にあわせて、寝室であった寝間に蚊帳を吊って演出・展示した。

開催期間 令和 2 年 8 月 8 日（土）～8 月 23 日（日）

観覧者数 308 人（有料観覧者 268 人、無料観覧者 40 人）

⑧ 「ふろしき」展

むかしの道具の一つとして「ふろしき」を取り上げ展示した。

開催期間 令和 2 年 9 月 5 日（土）～9 月 27 日（日）

観覧者数 703 人（有料観覧者 633 人、無料観覧者 70 人）

共催：大嶋屋

⑨ 「新潟仏壇工芸・越後生紙」展

当市の伝統的工芸品の一つ「新潟・白根仏壇」から「新潟仏壇」を展示した。また、県内の手漉き和紙職人による組合「越後生紙振興組合」と共催し、県内の各所に伝わる様々な和紙制作技法を紹介した。

開催期間 令和 2 年 10 月 17 日（土）～11 月 8 日（日）

観覧者数 1,386 人（有料観覧者 861 人、無料観覧者 525 人）

共催：新潟仏壇組合、越後生紙振興組合

⑩ ボランティア企画「新潟の新聞」展

当館ボランティアスタッフ有志とともに、資料整理をしながら明治期以降の新潟県内の新聞を展示した。

開催期間 令和 2 年 11 月 14 日（土）～12 月 13 日（日）

観覧者数 1,295 人（有料観覧者 1,114 人、無料観覧者 181 人）

⑪ 「羽子板」展

新年にあわせて、当館所蔵の羽子板を展示紹介した。

開催期間 令和 2 年 12 月 19 日（土）～令和 3 年 1 月 17 日（日）

観覧者数 199 人（有料観覧者 166 人、無料観覧者 33 人）

⑫ 「ひな人形とからくり人形」展

当館及び新潟ハイカラ文庫所蔵の古式雛とからくり人形を展示した。

開催期間 令和 3 年 2 月 20 日（土）～3 月 21 日（日）

共催：新潟ハイカラ文庫

観覧者数 1,002 人（有料観覧者 866 人、無料観覧者 136 人）

(2) 教育普及事業 256, 516 円

旧小澤家住宅を通して新潟の歴史や文化に関する「学び」と「楽しみ」を提案するため、様々な催し物の開催とともに体験学習を実施した。

① 庭園講習会・・・6月27日（土）

夏場の庭木の手入れについて、当館庭師による講習会を実施した。

② ふろしき講座・・・9月5日（土）、6日（日）

「ふろしき」展の関連企画として、ふろしきの活用講座を実施した。

③ 古文書講座初級編・・・（水曜日コース）10月7日（水）・14日（水）・21日（水）

11月11日（水）・18日（水）

（金曜日コース）10月9日（金）・16日（金）・23日（金）

11月13日（金）・20日（金）

本井晴信氏を講師に迎え、古文書の初心者向け講座を実施した。当初3回の予定を、参加者の要望に応え、各コースとも2回ずつ追加実施した。

④ 新潟仏壇工芸ワークショップ・・・10月24日（土）、25日（日）、

11月1日（日）、3日（火）

「新潟仏壇工芸」展・「越後生紙」展の関連企画として、伝統工芸士による蒔絵実演、職人指導によるワークショップ（金具打ち・蒔絵塗）を開催した。

⑤ クリスマスのスワッグ作り・・・12月6日（日）

壁に飾れるクリスマス飾りの製作教室を開いた。

⑥ お正月の苔玉作り・・・12月12日（土）

お正月飾り用の苔玉の製作教室を開いた。

⑦ 稲穂で作る正月飾り・・・12月13日（日）

稲穂などの自然の素材を使った正月飾りの製作教室を開催した。

⑧ 百人一首大会・・・2月10日（水）

日和山小学校の4年生を招いて、百人一首のかるた取り大会を開催した。

⑨ 稲わらでつくるひな人形・・・2月21日（日）

「ひな人形とからくり人形」展の関連企画として、稲わらを使ったひな人形作りの教室を開催した。

⑩ ボランティアガイド事業

旧小澤家住宅のボランティアガイドとともに新聞資料の整理を行い、ボランティア企画展「新潟の新聞」展を開催した。

※7月に予定していた宿泊体験、9月に予定していた「秋の酒づくし」、2月27日・28日に予定していた「からくり人形の実演」、3月に予定していた「春の酒づくし」は、新型コロナウイルス感染拡大を考慮して中止した。

(3) 施設普及事業 792, 333 円

旧小澤家住宅での様々な楽しみ方を提案するため、時候に合わせた「しつらい」とともに催し物を実施した。

また、事業取組の参考とするため、来館者ニーズのアンケート調査を実施した。

① 応接セットの展示・・・5月12日（火）～6月3日（水）

藤の間に応接セットを展示し、応接間として使われていた往事の姿を再現した。

② 山野草の展示・・・5月12日（火）～22日（金）

旧小澤家住宅の風合いを来館者から楽しんでもらうため、通り土間にさまざまな山野草を展示した。

協力・花や木下

③ 蛙まつり・・・6月6日（土）～7月19日（日）

6月6日の「かえるの日」と梅雨にあわせて、職員ら有志が持ち寄った蛙をモチーフにした置物、ぬいぐるみ、手拭いや絵本などを展示した。

④ 夏至祭ミニ～こころばかり～・・・6月21日（日）

夏の町家の雰囲気由来館者から楽しんでもらうため、夏至の日に合わせて飲食の提供や物販、ゲリラライブを行った。なお、和服での来館者は入館料を無料とした。新型コロナウイルス感染予防に配慮し、当初予定していた2日間から1日限りのミニ版に変更して開催した。

共催・Bar Book Box

⑤ おやつの日（7月）・・・7月23日（木・祝）

町のにぎわいを絶やさないことを目的に、市内の飲食店を招いておやつの販売を行った。海の日にあわせて、オリジナルグッズが当たるくじ引きも開催した。

新潟漆器の実演販売も行った。

⑥ おやつの日（8月）・・・8月29日（土）

市内の飲食店を招いておやつの販売を行った。

唄と三味線の踊りのゲリラライブも開催した。

⑦ おやつの日（9月）・・・9月22日（火・祝）

市内の飲食店を招いておやつの販売を行った。

唄と三味線と踊りのゲリラライブも開催した。

⑧ おやつの日（10月）・・・10月17日（土）

市内の飲食店を招いておやつの販売を行った。

小澤家オリジナルコーヒーの販売も行った。

⑨ 秋のミニ文化祭・・・11月23日（月・祝）

秋の町家の雰囲気由来館者から楽しんでもらうため、文化祭を開催し、飲食の提供や物販を行った。例年行っている夜間開館・ライトアップ・ワークショップ・ライブハウスなどは新型コロナウイルス感染予防に配慮して中止し、「ミニ文化祭」として縮小版で開催した。

⑩ おやつの日（12月）・・・12月6日（日）

市内の飲食店を招いておやつの販売を行った。

⑪ 花で彩る・・・1月9日（土）～17日（日）

お正月をテーマに、土間にフラワーアレンジメントを展示した。

⑫ フラワーアレンジメントワンディレックスン・・・1月10日（日）

「花で彩る」の関連企画として、フラワーアレンジメントの製作教室を開催した。

- ⑬ おやつの日（1月）・・・1月16日（土）
市内の飲食店を招いておやつの販売を行った。
唄と三味線と踊りのゲリラライブも開催した。
- ⑭ おやつの日（2月）・・・2月14日（日）
市内の飲食店を招いておやつの販売を行った。
唄と三味線と踊りのゲリラライブも開催した。
- ⑮ 箏の演奏会・・・3月6日（土）
旧小澤家住宅の春の雰囲気来館者から楽しんでもらうため、「ひな人形とからくり人形」展の関連企画として箏の演奏会を開催した。
- ⑯ おやつの日（3月）・・・3月14日（日）
市内の飲食店を招いておやつの販売を行った。
唄と三味線と踊りのゲリラライブも開催した。
- ※5月10日（日）に予定していた「藤見煎茶会」、初夏に予定していた「新潟甚句・佐渡おけさ『新潟の踊り講習会』」、12月20日に予定していた「年忘れ煎茶会」は、新型コロナウイルス感染拡大を考慮して中止した。

- (4) 調査研究事業 1,000 円
みなとまち新潟に対する市民の理解を深めるため、小澤家文書や小澤家より寄贈された資料を調査し、その成果を「小澤家ゆかりの品々」展で紹介した。
「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」に、賛助会員として参加した。令和2年11月、旧小澤家住宅周辺地区が新潟市景観計画の特別区域に指定された。
- (5) 収蔵資料保存管理事業 327,000 円
資料の仮整理・収蔵作業を行った。

2 文化施設管理受託事業 12,724,956 円

旧小澤家住宅管理事業

指定管理の受託事業者として新潟市文化財旧小澤家住宅の適正な維持管理運営を行い、来館者および利用者へのサービスの向上に努めた。

※ 令和2年度旧小澤家住宅入館者数 11,544 人

1 付帯事業 13, 758, 966 円

(1) 市民芸術文化会館付帯事業 12, 435, 479 円

市民芸術文化会館の文化事業を推進し、館のイメージアップを図るため、来館者へのサービスを充実するとともに施設に触れる機会の提供に努めた。

- ① 友の会の運営
- ② ショップの運営
- ③ 飲食サービスの実施
- ④ 貸館公演チケットの受託販売
- ⑤ バックステージツアーの実施

(2) 音楽文化会館付帯事業 676, 235 円

来館者に対するサービスを充実するとともに、館の認知度を高めるため、施設に触れる機会の提供に努めた。

- ① 自動販売機等の設置
- ② 貸館公演チケットの受託販売
- ③ 市民参加型企画の実施

(3) 新潟県民会館付帯事業 5, 221 円

来館者へのサービスをより充実させるため、鑑賞用グッズの販売や他館で開催される催し物チケットの受託販売、各種自動販売機の設置などを実施した。

なお、新型コロナウイルスや大規模改修工事の影響により、イベント数が激減したため、収益事業収益に大幅な落ち込みがあった。

- ① 貸館公演チケットの受託販売
- ② 自動販売機の設置
- ③ 各種サービス事業の実施

(4) 歴史博物館付帯事業 533, 361 円

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行った。

- ① 物販等ショップの運営
- ② 自動販売機設置

(5) 旧小澤家住宅付帯事業 108, 670 円

旧小澤家住宅では、新潟漆器、ふろしき、書籍などを受託販売し、季節に合わせてこまめに商品の入れ替えを行っている。

当館のオリジナル商品として、箸置き、つま楊枝、お菓子、手ぬぐい、トートバッグ、Tシャツなどの開発・販売にも力を入れ、令和2年度からはオリジナルマスクの販売を始めた。

2 施設貸与事業 **207, 280, 199 円**

来館者へのサービスの充実を図るため、公益目的以外の活動に対しても施設の貸出を行った。

- | | |
|------------|--------------|
| ① 市民芸術文化会館 | (72,323,280) |
| ② 音楽文化会館 | (2,005,678) |
| ③ 県民会館 | (39,357,959) |
| ④ 歴史博物館 | (74,975,983) |
| ⑤ 旧小澤家住宅 | (18,617,299) |

2 令和3年度事業計画

当財団は、新潟市民の芸術文化及び歴史文化の振興を図り、もって、自主的自発的な市民文化の創造に寄与することを目的とする公益財団法人として、新潟市において感動し驚きに出会い、そして共に生きる絆を創る人々の文化的プラットフォームの構築に寄与し続けるための事業展開に努めます。

令和3年度も新型コロナウイルスの影響により、文化芸術活動は様々な制限を受けていますが、文化・芸術の灯を守り、次代へと受け繋いでいくため、感染防止対策を最大限に行いながら事業を実施します。

財団運営では、コロナ禍において新潟市の財政状況が厳しく、3年間の集中改革期間中であり、これを機に引き続き事業の点検・見直しを含めた財団改革の取り組みを進めます。

公1 事務局事業

55,569 千円

文化事業 55,569 千円

平成28年9月に設立した「アーツカウンシル新潟」の運営を通じ、市民の自主的な文化芸術活動を支援するほか、新潟市の文化的な環境の充実、各分野の文化活動の活性化を目的とした事業を実施する。また、新潟市の文化政策の推進を総合的に支援する。

(1) 「アーツカウンシル新潟」の運営 40,924 千円

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化プログラムの取り組みの“レガシー”を検証し、改訂が予定されている次期『新潟市文化創造交流都市ビジョン』との整合性をとりながら、体制等の整備を進める。

また、新潟市との連携により、コロナ禍における市内の文化芸術活動の支援を進めるとともに、文化芸術基本法に定められた、地域の歴史、風土等を反映した特色ある文化芸術の発展及び観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策との有機的な連携に取り組む。

<文化芸術活動の支援>

事業実施、助成等の資金調達、情報発信及び広報等、文化芸術活動全般に関する市民団体等の相談を受け付け、助言、マッチング等の支援を行う。

また、市民主体の文化芸術活動の活性化と、持続・自律化に向けて、市や国、民間財団等が実施する助成制度を活用した支援を行う。

市内の文化芸術団体が持続的、自律的に活動することのできる基盤、仕組みづくりを進め、多くの市民が文化芸術に触れることのできる環境を創出することをめざす取り組みに対して、対象となる経費の3分の2以内、上限額100万円で助成金を交付する。なお、取り組みを実施する主体（団体、個人）としての成果を見込むものではなく、広く成果が共有できる取り組みを対象としている。助成回数は3回を限度とし、2年目が2分の1以内、3年目が

3 分の 1 以内とする。

なお、コロナ禍における新潟市の相談窓口を終息まで継続的に開設するとともに、新潟県文化振興課の委託事業として県全体の相談窓口の機能を担う。(受託金額 相談 1 件当たり 7,700 円。県内各地での対策研修を含め、総額 300 万円程度の見込み。)

<調査・研究>

市内現況調査及び国内の先進事例調査等、文化芸術活動に関する相談受付、新潟市の文化施策の企画・立案に必要な調査・研究を行う。

特にコロナ禍の影響で活動が困難となっている市内の文化芸術団体等の状況を、随時把握し、先述の支援に柔軟に反映させていく。

<情報発信>

市内の文化芸術活動を効果的に発信するため、SNS やホームページを活用、適宜更新し、支援情報等、文化プログラム推進に向けて効果的に情報発信を行う。

また、アーツカウンシル新潟の PR と、市民文化芸術活動団体の掘り起しや交流によるネットワーク形成等を目的に、市民が気軽に相談・利用できる文化情報スペースを運営するとともに、同スペースを活用し、有識者等、ゲストを交えた交流企画「語りの場」を概ね 6 回程度開催する。

あわせて、独立行政法人日本芸術文化振興会による「アーツカウンシルネットワーク」の事務局業務を受託、全国的な地域アーツカウンシルのネットワークの形成を支援する。(受託金額 3,094,806 円。)

<企画・立案>

市の文化政策として行う事業に対して、調査等に基づく専門的な見地から助言や提言を行う。また、次期『新潟市文化創造交流都市ビジョン』改訂に伴う、新潟市の文化政策の方向性と整合した政策・施策・事業評価を検討する。

加えて、市の関連分野部署との連携を図り、モデル的な取り組みを進めていく。

(2) 支援助成事業 1,283 千円

市民の自発的な文化芸術活動の充実・活性化と新潟市の文化芸術活動の振興を目的として、市民が行う文化芸術事業に対して、申請時期を 3 回に分け、対象となる経費の 3 分の 2 以内、上限 20 万円で助成金を交付する。

助成回数は計 3 回を限度とし、補助率は 2 回目 2 分の 1 以内、3 回目 3 分の 1 以内とする。

(3) 坂口安吾顕彰事業 10,873 千円

新潟市が管理する安吾 風の館での資料展示を行うほか、「坂口安吾デジタルミュージアム (HP)」の充実、安吾顕彰団体と連携を図っての生誕祭の実施により安吾の普及啓発に努める。また、引き続き関連資料の調査研究を行う。

(4) 共催事業 2,367 千円

対象が市内広域におよぶ、文化振興に大きく貢献する以下の文化事業を共催し、負担金を支

出する。

- ・ 第 69 回新潟市芸能まつり
- ・ 第 53 回新潟市美術展
- ・ 第 34 回新潟市郷土芸能公演

(5) 表彰顕彰事業 122 千円

新潟市美術展などの新潟市で開催される公募展に財団賞を交付する。

○ 新潟市民芸術文化会館及び新潟市音楽文化会館

1, 242, 144 千円

1 文化事業 464, 436 千円

市民芸術文化会館の3つの専門ホールと音楽文化会館等諸施設を十分に生かした、質の高い創造性あふれる鑑賞事業を主催するとともに、舞台芸術の愛好者の拡大とジュニアの育成を目的とした普及育成事業を行うことで、新潟市における芸術文化の振興を図る。

また、新潟市の芸術文化活動の拠点施設としての役割を果たすとともに、全国に向け積極的に音楽・演劇・舞踊など舞台芸術を発信することによりシビックプライドの醸成と我が国の芸術文化の振興に努める。

(1) 音楽事業 150, 259 千円

東京交響楽団との提携による質の高い演奏と幅広い曲目内容の演奏会、日本を代表するコンサートホールにふさわしい演奏家を招聘した世界水準の演奏会、親子を対象とした音楽ファン拡大のための演奏会など、バラエティに富んだプログラム内容を実施する。企画内容においても硬軟取り混ぜ、市民各層のさまざまなニーズに応えるラインナップとした。

① 鑑賞事業 (99,145)

ー東京交響楽団シリーズー

・東京交響楽団新潟定期演奏会

第119回	～マーラー:交響曲第1番 ニ短調「巨人」～	令和3年5月9日(日)
第120回	～プロコフィエフ:「ロメオとジュリエット」組曲より～	6月13日(日)
第121回	～ムソルグスキー:組曲「展覧会の絵」～	7月11日(日)
第122回	～ベートーヴェン:交響曲第9番 ニ短調 合唱付～	9月19日(日)
第123回	～ブラームス:交響曲第4番 ホ長調～	11月7日(日)
第124回	～チャイコフスキー:ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調～	令和4年3月20日(日)

ー東響定期+αー

・三浦一馬&東京グランド・ソロイスト	令和3年5月2日(日)
・ベルリン・コンツェルトハウス室内オーケストラ	令和3年12月6日(月)
・東京六人組	令和4年2月27日(日)

ーピアノ・リサイタルシリーズー

・牛田智大ピアノ・リサイタル	令和4年3月19日(土)
----------------	--------------

ーりゅーとぴあ器楽リサイタルシリーズー

・石田泰尚&津田裕也ベートーヴェン・チクルス	令和3年9月23日(木)
------------------------	--------------

ーオルガン・シリーズー

・石丸由佳(新専属オルガニスト)オルガン・リサイタル	令和3年6月26日(土)
・オルガン 1 コインコンサート	令和3年8月4日(水)
・オルガン・クリスマス コンサート	令和3年12月17日(金)
・山本真希 オルガン・リサイタル	令和4年3月12日(土)

ーホール体験事業ー

・ 1 コインコンサート

Vol.112 「ヴァイオリン」

令和 3 年 4 月 22 日(木)

Vol.113 「ピアノデュオ」

令和 3 年 5 月 21 日(金)

Vol.114 「ハープ」

令和 3 年 6 月 19 日(土)

Vol.115 「サクソフォン四重奏」

令和 3 年 10 月 15 日(金)

Vol.116 「ピアノ」

令和 3 年 11 月 12 日(金)

Vol.117 「オルガン」

令和 3 年 12 月 3 日(金)

ー室内楽ー

・ チェロ四重奏「ウルトラ・スーパー・チェロズ」

令和 3 年 5 月 1 日(土)

ーその他ー

・悠久の響き～声明～

令和 3 年 10 月 2 日(土)

・オペラシアターこんにゃく座「口はロボットの口」

令和 3 年 11 月 28 日(日)

・ステイ・アット・ニイガタ コンサート

令和 4 年 2 月 11 日(金)～12 日(土)

② 育成・普及事業 (51,114)

ー子供たちのための音楽会ー

・「オーケストラはキミのともだち」

令和 3 年 7 月 31 日(土)

ー市民参加合唱団ー

・にいがた東響コーラス

令和 3 年 6 月～令和 3 年 9 月

ージュニア等育成事業ー

・ジュニアオーケストラ教室育成事業

第 40 回演奏会

令和 3 年 8 月 29 日(日)

クリスマス・コンサート (音楽文化会館)

令和 3 年 12 月 19 日(日)

・全国公立ジュニアオーケストラ連絡協議会

通年

・ジュニア合唱団育成事業

第 30 回定期演奏会

令和 3 年 7 月 18 日(日)

クリスマス・コンサート (音楽文化会館)

令和 3 年 12 月 18 日(土)

・ジュニア邦楽合奏教室育成事業

第 26 回定期演奏会

令和 3 年 7 月 25 日(日)

・ジュニア音楽教室第 17 回スプリングコンサート

令和 4 年 3 月 27 日(日)

ーその他ー

・りゅーとぴあ音楽アーツ・マネジメント研修事業

令和 3 年 8 月 24 日(火)～27 日(金)

・オルガン普及プログラム (サマーデイズ, ニューイヤー)

令和 3 年 8 月 2 日(月)他

・オルガン講座

令和 3 年 4 月～

・りゅーとぴあアウトリーチ事業

通年

小武内茜ファゴット・リサイタル

令和 3 年 12 月 11 日(土)

田村亮太サクソフォン・リサイタル

令和 3 年 12 月 12 日(日)

・コンサートホール企画連絡会議

通年

(2) 演劇事業 129,962 千円

多様な専門機能を持つ劇場を活用し、公共や民間の劇場がプロデュースした企画及び小劇場系の演劇作品や伝統芸能など様々な公演を開催し、にぎわいのある劇場空間の創造と観客の拡大を目指す。さらに専門ホールの特性を活用してりゅーとびあ発の演劇作品を創造、全国に向けて発信する。本年度はプロデュース企画として「ハリネズミ」を実施する。演劇スタジオ APRICOT を通して次世代の舞台芸術を担う子どもたちの優れた人材や観客を育むとともに、ワークショップの実施により、広く演劇に携わる人材の育成と市民への普及啓発を図る。

① 鑑賞事業 (40,637)

- ・ M&Oplays プロデュース「Doors」(1 回公演) 令和 3 年 6 月 6 日(日)
- ・ 彩の国さいたま芸術劇場企画「めにみえない みみにしたい」(子ども企画) (2 回公演)
令和 3 年 8 月 18 日(水)
- ・ 第三十三回ふるまち新潟をどり (2 回公演) 令和 3 年 9 月 19 日(日)
- ・ 東京芸術劇場企画「Le Files 息子」(2 回公演) 令和 3 年 9 月 29 日(水)～30 日(木)
- ・ あうるすぽっと企画「能で読む～漱石と八雲～」 令和 3 年 10 月 24 日(日)
- ・ 世田谷パブリックシアター企画「マーキュリー・フアー」 令和 4 年 2 月 23 日(水・祝)
- ・ 水都寄席「春風亭小朝独演会」 令和 4 年 3 月 5 日(土)
- ・ NE/ST 第 9 弾公演 (共催事業) (未定)

② 育成・普及事業 (13,997)

- ・ りゅーとびあ演劇スタジオ APRICOT 通年(発表公演: 夏季・春季)
- ・ りゅーとびあ演劇ワークショップ (一般対象) (未定)
- ・ りゅーとびあ演劇ワークショップ (シニア対象) (未定)
- ・ 演劇アウトリーチ研究開発事業 (未定)
- ・ 新潟劇王 2021 (共催事業) 令和 3 年 5 月 4 日(火)～5 日(水)

③ 新潟発創造事業 (75,328)

- ・ りゅーとびあ発「ハリネズミ」
 - [東京公演] 6 回公演 あうるすぽっと 令和 3 年 6 月 10 日(木)～15 日(火)
 - [新潟公演] 2 回公演 りゅーとびあ・劇場 6 月 19 日(土)～20 日(日)
- 以下、受託公演
 - [西宮公演] 2 回公演 兵庫県立芸術文化センター 6 月 26 日(土)～27 日(日)
 - [加東公演] 1 回公演 加東市滝野文化会館 7 月 4 日(日)
 - [広島公演] 1 回公演 東広島芸術文化ホールくらら 7 月 6 日(火)
 - [水戸公演] 2 回公演 水戸芸術館 7 月 10 日(土)～11 日(日)
 - [石巻公演] 1 回公演 石巻市芸術文化センター 7 月 17 日(土)
- ・ りゅーとびあ発「更地」 (未定)

(3) 能楽事業 23,270 千円

伝統様式に則った本格的な能舞台を活用し、子どもから一般までを対象として普及に重点をおいた鑑賞公演を実施する。これに際し、訪日外国人を意識した多言語パンフレットも作成する。さらに能狂言に対する知識や興味を高める能楽基礎講座。子供たちを対象とした囃子、謡

と狂言のワークショップやアウトリーチなどの能楽体験ができる事業を開催することで若年層への能楽普及を図る。

① 鑑賞事業 (18,724)

- ・春の能楽鑑賞会[観世流] 令和3年5月15日(土)
- ・秋の能楽鑑賞会[宝生流] 令和3年10月9日(土)
- ・野村万作萬斎狂言公演(2回公演) 令和4年2月19日(土)
- ・新作能「利休」 令和4年3月13日(日)

② 育成・普及事業 (4,546)

- ・「能楽師に聞く 能の楽しみ」 年3回
令和3年6月30日(水)、9月21日(火)、令和4年1月29日(土)
- ・「さわってみよう能の世界」 (未定)
- ・狂言ワークショップ (未定)
- ・謡アウトリーチ【市内小中学校】 (未定)
- ・おやこ能楽体験教室(共催事業) (未定)
- ・おとなのための能楽講座「お能で美しく」(共催事業) (未定)

(4) 舞踊事業 109,465 千円

全国唯一の劇場専属舞踊団である Noism Company Niigata の活動による新潟オリジナルの質の高い舞踊作品を国内外に向けて創造発信することで、舞踊芸術の振興を図る。さらにアーティストが地域に定住する特性を生かし、市内の舞踊芸術に携わる優れた人材や観客を育むために年間通しての Noism オープンクラス、ワークショップ及び Noism 以外の舞踊公演に取り組み。他都市の劇場・音楽堂等との連携・協力関係を構築することにより、全市的及び地方の拠点施設としての役割と地位を高めていく。

新潟発創造事業

- ・ Noism Company Niigata カンパニー運営事業
- ・ Noism0+Noism1+Noism2 ストラヴィンスキー没後 50 年「春の祭典」
「夏の名残のバラ」「FratresⅢ」ほか
[新潟公演] 3 回公演 りゅうとぴあ・劇場 令和3年7月2日(金)～4日(日)
[埼玉公演] 3 回公演 彩の国さいたま芸術劇場 令和3年7月23日(金)～25日(日)
以下、受託公演
[豊橋公演] 1 回公演 穂の国とよはし芸術劇場 令和3年7月17日(土)
[札幌公演] 1 回公演 札幌文化芸術劇場 hitaru 令和3年7月31日(土)
- ・ Noism0+Noism1 新作 ダブルビル
[新潟公演] 3 回公演 りゅうとぴあ・劇場 令和3年12月17日(金)～19日(日)
[東京公演] 3 回公演 東京芸術劇場 令和3年12月24日(金)～26日(日)
- ・ Noism2 定期公演 3 回公演 令和3年4月23日(金)～25日(日)

地域貢献事業

- ・「柳都会」2回 令和3年10月／令和4年3月(予定)

・Noism オープンクラス	令和3年4月～令和4年3月
・Noism サマースクール&アウトリーチ	令和3年7月7日(水)～11日(日)
受託公演	
・Noism 「春の祭典」海外公演(モスクワ・シビウ)	令和3年5月26日(水)～28日(金)
・Dance Dance Dance@YOKOHAMA2021	令和3年10月16日(土)～17日(日)
招聘鑑賞事業	
・「エリア50代」 りゅーとびあ・能楽堂等	令和3年11月13日(土)～14日(日)

(5) 共催事業 0 千円

実演家団体、文化事業実施団体等とのタイアップにより、効果的な事業運営と地域の芸術文化活動及び振興を図る。また、このタイアップ共催により新潟市における全国的規模の事業を開催する。

・小児がんチャリティーコンサート	令和3年9月12日(日)
・第69回新潟市芸能まつり(新潟市音楽芸能協会)	令和3年10月3日(日)～令和4年2月23日(水)
・ふれあいホッとコンサート	令和3年10月9日(土)
・劇場で踊ろう! ダンスキッズ大集合(県女子体育連盟)	令和4年1月8日(土)
・関東高等学校演劇研究会大会(新潟会場)	令和4年1月17日(月)～23日(日)
・フィルハーモニア管弦楽団	令和4年3月17日(木)

(6) 広報営業事業 18,946 千円

公演情報を積極的に発信するとともに、チケット購入者の拡大や大口の顧客確保、ホールスポンサー制度など、広報・営業活動を効果的に展開していく。併せて上質な施設機能を広くアピールすることで、会館の知名度の拡大と利用促進を図る。また、顧客分析を実施し、友の会とインターネット会員の獲得、業務の効率化を図っていく。

指定管理を受託している新潟県民会館の事業も併せて広報・営業活動を効果的に展開し、市民芸術文化会館、音楽文化会館、県民会館の3館一体管理による文化ゾーンとしての魅力を高め発信していく。

- ・広報営業事業
- ・演劇広報事業

(7) 調査研究諸費 942 千円

次年度以降の事業の企画立案や円滑な施設運営を図るため、先進ホールの運営や優れた公演などについて調査・研究を進め、ノウハウの取得や人的交流の拡大に努める。

(8) 事業企画諸費 11,464 千円

音楽・舞踊・演劇等の各分野において、その専門家からの指導・助言を受け、優れた芸術文化事業を効果的に企画・実施するとともに、専属オルガニストを引き続き配置し、オルガン音楽の魅力を発信する。

- ・芸術監督(音楽部門・舞踊部門・演劇部門)
- ・専属オルガニスト

(9) 事業管理経費 20,128 千円

票券業務、託児サービス業務などを引き続き実施し、お客様の利便性の向上に努める。

2 文化施設管理受託事業 777,708 千円

(1) 市民芸術文化会館管理事業 651,963 千円

平成 10 年 10 月に開館した市民芸術文化会館は、通年の自主事業・貸館事業等に市民を始めとする多くの方々に来館いただいている。

令和 3 年度も一層のサービス向上に努め、より多くの来館者に安心・快適に利用してもらえるよう管理運営を行う。

- ① コンサートホールの管理
- ② 劇場の管理
- ③ 能楽堂の管理
- ④ ギャラリーの管理
- ⑤ スタジオの管理
- ⑥ 練習室の管理

(2) 音楽文化会館管理事業 125,745 千円

昭和 52 年 11 月に開館した音楽文化会館は、13 の練習室と成果発表に多く使用されるホールを備えた全国でも特徴のある施設として永く市民に親しまれている。

令和 3 年度も市民芸術文化会館及び県民会館との連携を図りながら、引き続き多くの市民に利用される施設を目指して管理運営を行う。

- ① ホールの管理
- ② 練習室（13 室）の管理

1 文化事業 2,613 千円

令和2年度から始まっている県民会館大規模改修工事に伴い、令和3年度は県民会館を活用した鑑賞事業を実施することができないため、アウトリーチ・ワークショップなどの館外事業を、従来よりも規模を拡大して展開する。

- ・フルート講座～あつまれ！フルートまつり～（村上） 令和3年4月11日（日）
- ・フルート講座～あつまれ！フルートまつり～（村上） 令和3年5月1日（土）
- ・フルート講座～あつまれ！フルートまつり～（村上） 令和3年6月6日（日）
- ・出張！たたこう館（未定） 訪問アウトリーチ 令和3年4月23日（金）
- ・出張！たたこう館（上越） 令和3年4月24日（土）
- ・出張！たたこう館（巻） 令和3年4月25日（日）
- ・劇団四季「The Bridge～歌の架け橋～」 令和3年8月17日・18日（火・水）
会場 新潟テルサ
- ・ふれあいホッとコンサート 令和3年10月9日（土）
- ・マイタウン・コンサート in 村上 令和3年10月10日（日）
- ・マイタウン・コンサート 訪問アウトリーチ 令和3年11月12日（金）
- ・マイタウン・コンサート in 新発田 令和3年11月13日（土）
- ・鼓童「ワン・アース・ツアー2021」 令和3年12月16日（木）
会場 新潟テルサ
- ・アートプロデュース講座 令和4年2月（予定）
- ・松竹大歌舞伎ポスター展 令和3年4月～12月（毎月1回）

2 文化施設管理受託事業 134,705 千円

県民会館管理事業

改修工事完了後は、会館設備使用可否確認や得意先回りなど、職員が一体となって、県民会館再開に向けた準備を行う。

- ① 大ホールの管理
- ② 小ホールの管理
- ③ ギャラリーの管理
- ④ その他施設（会議室・談話室、展示コーナー、情報ラウンジ等）の管理

○ 新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等

143,402 千円

1 文化事業 11,719 千円

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため以下の各種事業を行う。

(1) 展示運営更新 0 千円

常設展示室の部分展示替え等により情報内容を更新する。

(2) 企画展示事業 6,501 千円

興味深いテーマを設定し、地域の歴史・文化を楽しく分かりやすく市民に伝える展示を行う。
次年度は指定管理事業として以下の4本の企画展を開催する。

① 「みなとまち新潟の記憶―新潟町会所文書の世界―」展

開催期間 令和3年4月10日～5月30日 44日間

これまで「みなとまち新潟」の歴史を語る上で欠かせない資料としてたびたび活用されてきた「新潟町会所文書」を通して「みなとまち新潟」を見つめ直す。

② 第18回むかしのくらし展「マチとムラの年中行事」

開催期間 令和3年9月11日～11月14日 57日間

正月、節分、雛祭り、お盆など日本の年中行事の意味を考えるとともに、かつての年中行事を通してマチとムラの1年間の生活を紹介する。

③ 収蔵品展・新収蔵品展

開催期間 令和3年11月27日～令和4年1月30日 49日間

館収蔵資料を効果的に公開するため、テーマを設けて資料を紹介する収蔵品展と、令和3年度に新たに受け入れる資料を紹介する新収蔵品展を開催する。

④ 「幕末新潟の絵師」展

開催期間 令和4年2月11日～令和4年3月27日 37日間

湊町新潟を象徴する作品である、行田魁庵の市指定文化財「新潟入船之図」や、井上文昌の県指定文化財「大船絵馬」など、幕末期に活躍した新潟の絵師たちについて紹介する。

⑤ その他

次年度に開催予定の企画展の準備を行う。(印刷物の作成等)

※このほか、自主事業による企画展を開催する。

(3) 教育普及事業 637 千円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人やモノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学校等の教育活動を提案したりするとともに、レファレンス用開架図書を追加する。

① 体験の広場事業

小学生や家族連れを主な対象として、「つかう」、「しらべる」、「つくる」という機能を持つ、3つの広場「昔のくらしに触れる場」、「情報学習の場」、「創作活動の場」での体験プログラムを、土・日・祝日を中心に年50回程度開催する。

また、夏休み向けの体験や大人を対象とした体験プログラムなど、対象を設定した体験プログラムも織り交ぜて行く。

② 博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等の対応を行うとともに、新潟大学と連携して当館学芸員の寄附講義や大学生の実習受入れを行う。学校のニーズに応じて出前授業にも対応する。

③ 講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案するため、幅広い年齢層や個別のニーズに対応する以下の各種講座を開催する。

- | | |
|----------|------------------------|
| ・博物館講座 | 年10回（4月、3月を除く各月の第4日曜日） |
| ・館長講座 | 全4回（3／6・13・20・27） |
| ・古文書入門講座 | 全4回（開催日調整中） |

④ ボランティア事業

常設展示解説、敷地解説、体験の広場プログラムでのボランティア活動を支援するとともに、館の顔としてスキルアップを図る。またボランティア活動への新規希望者に向けた研修を行う。

※このほか、自主事業による教育普及事業を実施する。

(4) 施設普及事業 1,845 千円

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図る。

① 地域連携

地元市民団体と共催し、博物館を会場に野外コンサートや夏祭りなどのイベントを開催する。

② みなとびあファンクラブ

「みなとびあファンクラブ」会員を対象とした事業を行う。講演会や企画展鑑賞会、史跡探訪ツアーや新潟市内の街歩きなどを開催する。

(5) 調査研究事業 740 千円

市民の関心を呼び起こすテーマの探求や博物館活動の発展のために、調査研究活動を行う。当館の基本テーマである「湊と湊町」「低湿地のくらし」に合わせた調査・研究を基本とし、そのほか学芸員が各自のテーマで調査・研究を実施する。そうした成果を博物館講座等で市民に報告するとともに、研究紀要として刊行する。

(6) 資料整理事業 775 千円

寄贈や購入などにより受け入れた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用す

ることを目的に、以下の事業を行う。

① 保存環境管理

歴史資料を長期保存するための資料保全・環境整備。

新規収集資料の燻蒸・殺虫処置や、博物館収蔵庫・石庫・新潟市文化財センター・旧木場小学校等に所蔵する資料を、よりよい状況で保存するための IPM をはじめとする資料保存環境の管理に努める。

② 資料収集整理

地域の歴史資料を収集するとともに、資料を保存管理するための基礎的データや資料活用するための資料情報を調査・記録し、データベース化する整理作業を行う。併せて、資料の保存のためのクリーニング・養生などの処置を行う。

(7) 自主事業「みなとびあ歴史発見プロジェクト」 1,221 千円

令和3年度から再スタートする自主事業で、こどもからおとなまで幅広く、みなとまち新潟の歴史に親しみ、自ら歴史を発見する喜びを知ってもらい、新潟の街をみんなで盛り上げていこうというもの。事業実施に当たり、地域の企業・団体から協賛金をいただくなど自主財源を確保し、以下の事業を行う。

① 企画展

「川・街・港 変わりゆく風景」展

開催期間 令和3年7月17日～8月29日 38日間

新潟の街を数多く撮影してきたアマチュアカメラマン桜井進一の作品を展示する。日常風景を始め、新潟地震の被害状況、再開発により変化する新潟港、信濃川を軸に大きく変わる街の様子を紹介する。

※みなとの博物館ネットワークフォーラム助成事業

② 中級古文書演習

「字のくずしだけでなく、実際の古文書を読んでみたい」「もう少し難しい古文書を解読したい」そんな方にお勧めの宿題あり、予習・復習必須のゼミ形式で古文書を学ぶ。

全20回の講座。4～3月の間、第2、第4水曜日の午前・午後を開講。定員30人。

③ みなとびあこども歴史クラブ

小学生を対象に、古代から現代までの人々の暮らしと生活の一端をプログラム化して、体験してもらうことで、歴史を身近に感じ、かつての暮らしや文化財保護を考えるきっかけづくりを行う。

毎月第3日曜日に実施 全11回 20人程度募集

④ 大人の体験プログラム

大人が楽しめる歴史・文化にかかわる体験イベントを企画・実施する。

⑤ 特別講演会

新潟市の文化財や文化的風土をテーマとする講演会を企画・開催する。

2 文化施設管理受託事業 131,683 千円

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等に加え、信濃川左岸緑地の管理運営を行う。

(1) 歴史博物館管理事業

- ① 博物館本館（常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等）
- ② 旧第四銀行住吉町支店（応接室、会議室、日本間）
- ③ 屋外施設（広場、堀、園路等）

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

- ① 旧新潟税関庁舎
- ② 史跡（石段、石積み、石庫等）

(3) 信濃川左岸緑地管理事業

1 文化事業 1, 247 千円

指定管理の受託事業者として、小澤家住宅の設置目的に基づき以下の各種事業を行う。

【旧小澤家住宅の設置目的】

市文化財に指定された旧小澤家住宅を活用し、みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する。

(1) 常設展示・企画事業 214 千円

【常設展示】

みなとまち新潟の歴史・生活文化並びに旧小澤家住宅や小澤家の概要について、グラフィックパネル等で紹介する。

【企画展示】

① 桜井進一氏写真展「新潟むかし：昭和の記憶・西堀」展

開催期間 令和3年4月10日（土）～7月11日（日）

桜井進一氏が撮影した西堀の写真を展示紹介し、往事の姿を回顧する。

② 「みんなの問題・海のごみ」展

開催期間 令和3年7月17日（土）～8月1日（日）

一般社団法人 JEAN 所蔵の海ゴミ問題啓発に関する写真パネルを展示する。

協力：一般社団法人 JEAN

③ 開館10周年記念「小澤家と北前船」展

開催期間 令和3年7月22日（木）～8月29日（日）

小澤家の北前船経営資料や新潟の北前船に関連する資料を展示紹介する。

共催：新潟ハイカラ文庫

④ 「着物—新潟花街の華の衣装—」展

開催期間 令和3年9月11日（土）～10月3日（日）

昭和期の新潟の花街の芸妓が袖を通した華やかな着物を展示紹介する。

協力：着物洛松

⑤ 「新潟仏壇工芸」展

開催期間 令和3年10月16日（土）～11月7日（日）

当市の伝統的工芸品の一つ「新潟・白根仏壇」から「新潟仏壇」を展示する。これにあたり仏壇製作の技法を用いた仏壇以外の製作物の展示と職人の紹介も行う。

共催：新潟仏壇組合

⑥ 開館10周年記念「小澤家の婚礼料理」展

開催期間 令和3年11月13日（土）～令和4年1月16日（日）

明治・大正期の小澤家の婚礼料理の献立資料をもとに、旧家の婚礼料理を再現し紹介する。

⑦「ひな人形とからくり人形」展

開催期間 令和4年2月19日（土）～3月21日（月）

上巳にあわせ、当館及び近隣に伝わったとされる雛人形を展示する。また、日本の伝統的な人形文化の一端を紹介する目的で新潟ハイカラ文庫所蔵の古式雛も展示する。

共催：新潟ハイカラ文庫

(2) 教育普及事業 318 千円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人やモノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学校等の教育活動を提案したりする。

① 体験学習事業

- ・企画展の内容に即した体験学習

仏壇工芸体験（「新潟仏壇工芸」展中）

からくり人形実演（「ひな人形とからくり人形」展中）

稲わらでつくるひな人形（「ひな人形とからくり人形」展中）

- ・ふろしき講座
- ・新潟甚句、佐渡おけさ講習会
- ・クリスマスのフラワーアレンジメント
- ・稲穂でつくる正月飾り
- ・フラワーアレンジメントワンディレッスン

② 宿泊体験事業

- ・新潟市内の小学4年生を招いて、宿泊体験を行う。

③ 講座・講習・講演会事業

- ・古文書講座
- ・庭園講座 全2回（春1回、秋1回）

(3) 施設普及事業 520 千円

旧小澤家住宅の活動を広く市民に知ってもらうため、広報用の印刷物を作成したり、SNSによる情報発信をしたり、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行ったりする。

また、季節に合わせたしつらいや、イベントの開催などにより、来館の動機付けを行う。

① 芸術文化活動の開催

- ・市民企画フラワーアレンジメント 花で彩る 令和4年3月中

② 季節に合わせたしつらい

- ・山野草の展示

③ 季節に合わせたイベントの開催

- ・藤見煎茶会、年忘れ煎茶会
- ・夏至祭 令和3年6月20日（日）
- ・秋の大文化祭 令和3年11月23日（火）

④ 食をテーマにしたイベントの開催

(4) 調査研究事業 11 千円

市民が注目し、深く関心のあるテーマの探求や本施設における活動の発展のために、調査研究活動を行う。

「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」に賛助会員として参加する。

(5) 収蔵資料の保存管理事業 164 千円

旧小澤家より寄贈を受けた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用する。新規受け入れ資料の保存と目録の作成。

(6) その他事業 20 千円

地元団体、関連施設と連携した催事を開催する。

2 文化施設管理受託事業 14,913 千円

旧小澤家住宅管理事業

新潟市文化財に指定されていることを理解し、利用者へのサービスの向上に努め、旧小澤家住宅（情報案内所・藤ノ間・百合ノ間・道具蔵・離れ座敷等）の管理運営を行う。

1 付帯事業 19,314 千円

(1) 市民芸術文化会館付帯事業 16,726 千円

市民芸術文化会館の文化事業を推進し、館のイメージアップを図るため、来館者へのサービスを充実するとともに施設に触れる機会の提供に努める。

① 友の会の運営

※新たな取組として会員サービス拡充、会員数増を目的に会員限定コンサートを行う。

・宮田大（チェロ）×大萩康司（ギター）デュオ・コンサート 令和3年7月21日(水)

・長富彩ピアノ・リサイタル 令和3年9月16日(木)

・亀井聖矢ピアノ・リサイタル 令和3年12月21日(火)

② ショップの運営

③ 飲食サービスの実施

④ 貸館公演チケットの受託販売

⑤ バックステージツアーの実施

(2) 音楽文化会館付帯事業 1,984 千円

来館者に対するサービスを充実するとともに、館の認知度を高めるため、施設に触れる機会の提供に努める。

① 自動販売機等の設置

② 貸館公演チケットの受託販売

③ 市民参加型企画の実施

(3) 県民会館付帯事業 0 千円

大規模改修工事期間のため、ホームページの運営を強化し会館の情報提供に努める。

(4) 歴史博物館付帯事業 478 千円

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行う。

① 物販等ショップの運営

② 自動販売機の設置

(5) 旧小澤家住宅付帯事業 126 千円

来館者に対するサービスの充実を目的に、旧小澤家住宅でしか手に入らないオリジナル商品をはじめ、和の文化、みなとまちや歴史に関するグッズ等を扱ったショップの運営を行う。

2 施設貸与事業 **123, 903 千円**

来館者へのサービスの充実を図るため、公益目的以外の活動に対しても施設の貸出を行う。

- | | |
|------------|----------|
| ① 市民芸術文化会館 | (22,947) |
| ② 音楽文化会館 | (1,915) |
| ③ 県民会館 | (0) |
| ④ 歴史博物館 | (80,366) |
| ⑤ 旧小澤家住宅 | (18,675) |